東京都立大江戸高等学校　平成２９年度　地理歴史科　年間授業計画

１．科目名　　地理Ａ　　２．講座名（単位数）　地理Ａ（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　『高等学校　新地理Ａ』（帝国書院）『標準高等地図―地図で読む現代社会―』（帝国書院）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
１学期	４	○人間生活の舞台である地球	○地球表面の様子および地球表面の表し方について理解する。	○毎回の授業に出席し、集中して話を聞き、提出物を出すなど、授業に真剣に取り組むことができたか。 ○定期考査に向けて、家庭学習をし、十分な準備をして受験することができたか。 ○世界には、様々な地域があり、多様な文化・生活様式があるということを理解できたか。 ○地球規模の課題を解決するために、一人ひとりがどのように行動するべきかを、問題意識を持って考察したか。 上記の観点に基づき、 １　定期考査 ２　提出物 ３　取り組み から総合的に評価する。	４
	５	○人間生活をとりまく環境 【自然環境（地形・気候）】	○自然環境（地形や気候）と人々のくらしの関連を考察する。		８
	６		○社会環境（言語や文化）と人々のくらしの関連を考察する。		８
	７	【社会環境（宗教・言語）】			６
２学期	９	○産業と生活 【農業】【林業】【水産業】 【鉱工業】【流通と情報化】 【余暇と観光産業】 ○世界の諸地域を学ぶ	○産業の発達が、人々の生活や自然条件とどのように関連しているか理解する。		８
	10	【アメリカ合衆国】 【ヨーロッパ】	○世界には様々な地域があり、多様な文化や生活様式があることを理解する。またそれらが自然環境や社会環境からどのような影響を受けているかを理解する。		６
	11	【オーストラリア】 【中国・インド・朝鮮半島】			８
	12	【中東・アフリカ・ロシア】			６
３学期	１	○地球的課題 【エネルギー資源】	○現在、地球的規模で直面する深刻な課題について、地域的特徴をとらえる。またこれらの地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているかを理解する。		６
	２	【地球温暖化】 【人口・食料問題】 【移民と難民】			６
	３	○日本の自然環境と防災 【火山】【地震】【風水害】 【身近な地域の防災】	○自然環境と防災に対する関心と課題意識を高め、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察する。		４
				予定時数計	70